

はしがき

第 I 部 法の成り立ちを学ぶ

第 1 講 法の世界へようこそ

I 法ってなに？	003
II 法学者はビートルズが嫌い？！	004
1 「法」の意味と役割	004
2 法の分類	006
関係性による分類／役割による分類／形式による分類	
III 法を学んで頭脳明晰！	010
1 法的思考力の養成	011
カルネアデスの板／常識とバランス感覚	
2 社会科学的思考力の養成	014

第 2 講 法の実現は裁判で——訴訟手続

I ウルトラマンは問題児：裁判の意義	019
1 裁判制度の必要性	019
2 民事訴訟	020
3 刑事訴訟	023
刑事事件における登場人物／捜査／公判／少年事件の手続	
II 裁判官も木から落ちる？	028
1 裁判所の種類	028

2	三審制	029
3	裁判の結果	030

第3講 裁判に関わる人々

I	餅は餅屋？	033
1	裁判官	033
2	検察官	034
3	弁護士	035
4	その他の法律家	036
5	裁判所書記官	036
II	12人の怒れる男：裁判員制度	037
1	裁判員の選び方	037
2	裁判員の仕事	038
3	裁判員制度の問題点	038

第4講 条文を読んでみよう

I	酔こんぶはおやつか？	042
1	はじめに定義ありき	042
2	条文解釈の方法	043
II	ゆいごん残すも遺言とならず？	047
1	条文の構造	048
2	法律の制定・公布・施行	051

第II部 様々な法を学ぶ

第5講 憲法はサイコー——憲法その1

I	近代憲法にワシントンもビックリ？	055
1	憲法の起こり	055
	中世ヨーロッパにおける憲法／近代国家における憲法	
2	憲法の特徴	057
3	日本国憲法の基本原則	058
	基本的人権の尊重／国民主権と象徴天皇制／平和主義	

II 自由もいろいろ：人権の分類	061
1 自由権.....	061
2 参政権.....	062
3 社会権.....	062

第6講 権利のカタログ——憲法その2

I 通販カタログより見やすい？：人権のカタログ	065
1 基本的人権の分類.....	065
2 憲法13条と新しい人権.....	066
3 法の下の平等.....	069
II 個別の人権を学ぼう	071
1 思想・良心の自由（憲19条）.....	071
2 表現の自由（憲21条）.....	072
知る権利／情報公開請求権／表現の自由をめぐるその他の問題	
3 教育を受ける権利（憲26条）.....	078

第7講 統治のしくみ——憲法その3

I 疑う者は救われる？！	081
II ライバルだけけど良い仲間	082
1 国会.....	083
唯一の立法機関／政党／二院制	
2 内閣.....	087
III がんばれ裁判所	089
1 司法権の独立.....	089
2 司法権の意味.....	090
3 違憲審査制.....	092
付随的違憲審査制と抽象的違憲審査制／条約と違憲審査制	

第8講 犯罪が起きたら——刑法その1

I 罪と罰	095
1 罪刑法定主義.....	095
2 刑法の役割と犯罪の種類.....	096
II フローチャートで犯罪成立	097
1 構成要件該当性.....	098
客 体／実行行為／因果関係	

2	違法性	104
	違法性阻却事由／違法性の本質	

第9講 悪いことをしても罰せられない？——刑法その2

I	ああ無情：有責性	109
	責任能力／故意・過失／違法性の意識／期待可能性	
II	犬か鹿か？：錯誤論	114
1	具体的事実の錯誤	116
2	抽象的事実の錯誤	117
3	違法性の錯誤	119
III	丑の刻参りとデスノート：結果が生じない場合	120
1	不能犯	120
2	中止犯	122

第10講 罰するということ——刑法その3

I	黒幕のスター達：共犯	126
1	正犯と共犯	126
2	間接正犯	128
3	共同正犯	129
4	共謀共同正犯	130
5	正犯と教唆犯	131
	共犯従属性説と共犯独立性説／要素従属性の問題	
6	従犯	132
II	クールヘッドとウォームハート：犯罪論と刑罰論	133
1	刑罰の種類	133
2	刑罰論	134
3	死刑をめぐる問題	136

第11講 私たちの生活ルール——民法その1

I	民法と大学祭執行マニュアル	139
II	わらしべ長者の契約	143
1	契約から生じる債権と債務	143
2	契約の分類	145
	有償契約・無償契約／双務契約・片務契約／分類の意味／諾成契約・要式契約・要物契約／典型契約・非典型契約	

Ⅲ 契 ^{ちぎ} り	150
1 契約の拘束力	150
2 契約の成立時期	151

第12講 契約って？——民法その2

I 勘違いはいけどウソはダメ！：意思表示の問題点	154
1 効果意思の不存在	154
錯 誤／心裡留保／虚偽表示	
2 意思表示の瑕疵	156
詐欺による意思表示／強迫による意思表示	
II 契約よ安らかに：債権・債務の消滅	158
1 弁 済	159
2 代物弁済	159
3 更 改	160
4 免 除	160
5 供 託	160
6 混 同	160
7 相 殺	161
III どうしてくれるんだ！：損害賠償請求	161
1 債務不履行	162
債務不履行の3類型／解 除	
2 契約に基づかない債権・債務	164
不法行為／事務管理／不当利得	

第13講 所有するって？——民法その3

I 所有せずとも「寄こせ」と言える?!：物権の性質	169
1 物権と債権	169
2 物権法定主義	170
3 一物一権主義	171
4 物権の種類	172
所有権／制限物権	
5 物権の変動	173
6 所有権の取得原因	175
特定承継と包括承継／承継取得と原始取得	

II	タンポと湯たんぼ：担保物権	178
1	人的担保	178
2	物的担保	179
	担保物権の種類／質 権／抵当権／法定担保物権	

第14講 契約するのは誰？——民法その4

I	能力なしとは失礼な！	185
1	権利能力と行為能力	185
2	法 人	186
	法人の種類／法人の権利能力の範囲	
3	行為能力	187
	未成年者／成年被後見人／被保佐人／被補助人／任意後見制度	
II	できる人にまかせちゃえ：代 理	189
1	代理の意味	189
2	代理の要件	191
	代理権の授与／顕 名／代理人の権限内での行為	
3	自己契約・双方代理	192
4	無権代理	193
5	表見代理	195

第15講 家族に関わる法——民法その5

I	ナウな家族法で救えるか？！	197
1	親族関係	197
2	婚姻と離婚	199
	婚姻の要件／婚姻の効果／離 婚	
3	親 子	201
4	相 続	202
	法定相続人／相続財産の範囲／法定相続分／遺留分	
II	Last but Not Least：民法の基本原則と修正	205
1	民法の基本原則	206
	権利能力平等の原則／私的自治の原則／過失責任の原則／所有権絶対の原則	
2	民法1条	207

事項索引